

## 5 申請書作成のポイント

### (1) 必要項目は

申請団体等名  
所在地  
連絡先（担当者）電話  
事業目的  
事業計画  
予 算

### (2) 記入に当たって

#### ポイント1 目的をはっきりさせる

地域文化の向上発展のため  
次代の文化を担う青少年育成のため  
伝統文化の保存・継承のため  
文化を生かした地域づくりのため

#### ポイント2 事業内容を明示する

上記の目的を達成するために、いつ頃、誰が、何をするのか  
具体的に内容が詰めてあるものは、採択されやすい。

#### ポイント3 特長をアピールする

本県で初めて開催する、20年ぶりの開催など  
300年続く民俗芸能である、全国で現在は当地しか伝承されていないなど  
会場は地域で最大客席のものを使用し、家族連れで多くの方が鑑賞できるなど  
脚本、演出、監督、出演者まで、地元市民が創り上げるものであるなど

#### ポイント4 予算は大まかにしない

企画への意気込み等が伝わりやすいので、積算は詳細を記入しましょう。

(例)・謝金	講師謝金(東京都)	@100,000円×2人
	講師謝金(県内)	@50,000円×3人
・旅費	県外講師打合せ(東京都日帰り)	@50,000円×1人×2回
	県内打合せ	@1,000円×1人×10回
	県外講師旅費(東京都日帰り)	@50,000円×2人
	県内講師旅費	@3,000円×3人
・需用費	チラシ印刷	@20円×10,000部
・役務費	通信電話料	@30円×100回
	切手代	@80円×20枚
・使用料	会場使用料	@100,000円×1日
	機材借り上げ	@10,000円×4時間